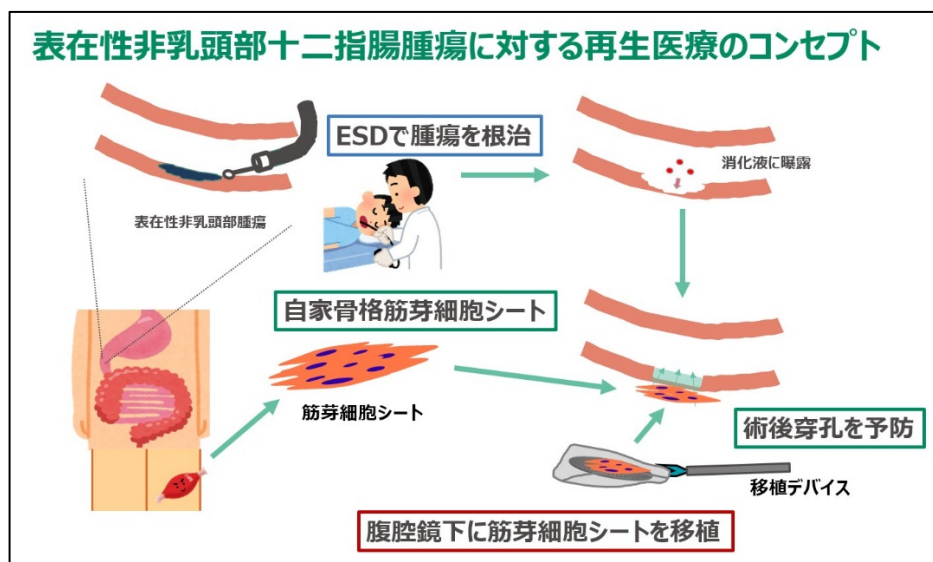


2021年 3月 5日

報道機関 各位

## 十二指腸腫瘍に対する再生医療を用いた新規手術術式の開発 医師主導治験についての記者説明会を開催します

長崎大学とテルモ株式会社の共同研究講座である「消化器再生医療学講座」の 金高賢悟教授らの研究グループは、患者自身の細胞を用いて作製する「細胞シート」の技術を十二指腸腫瘍の手術に応用する新規手術術式を開発。2021年4月より長崎大学病院にて医師主導治験を開始します。



長崎大学病院ではこれまで、患者の口腔粘膜から作製された口腔粘膜上皮細胞シートを食道癌ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)後の潰瘍部に移植し術後狭窄(食道が狭くなること)を予防する臨床研究を行った実績がありますが、消化器外科領域に細胞シートを応用した再生医療研究は世界初の試みです。

この医師主導治験の開始に先立ち、実施方法や期待される効果についてご説明するため、下記のとおり記者説明会を開催いたします。お忙しいとは存じますが、ぜひ説明会にご参加ください。

### 記

- 日時：2021年3月12日(金)14:00～15:00
- 場所：長崎大学医学部良順会館(長崎市坂本1-12-4)
- 説明者：中尾 一彦 病院長  
江口 晋 大学院医歯薬学総合研究科 移植・消化器外科 教授  
金高 賢悟 大学院医歯薬学総合研究科 消化器再生医療学講座 教授  
橋口 慶一 病院光学医療診療部 助教

恐れ入りますが、取材ご希望の方は令和3年3月11日(木)までに、下記取材申し込み先までご連絡をお願いします。

**【本リリースに関するお問い合わせ・取材申し込み先】**

長崎大学病院総務課(広報・評価)高藏 TEL:095-819-7790